

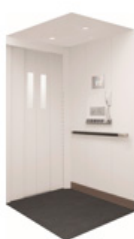
2020年5月14日

パナソニック エレベーター株式会社

小規模建築物向けに機能をグレードアップ
小型エレベーター「VSシリーズ」を発売
 社名変更後初の新製品



【XLウェルハートVS】



【ウェルハートVS】



【設置イメージ】

品名	XLウェルハートVS	ウェルハートVS
駆動方式	ロープ式(巻胴式)	
最高速度/定員/積載上限	上昇時:毎分20 m、下降時:毎分30 m/3人/200 kg	
昇降行程(最大停止数)	10 m以下(4ヶ所)	
ルーム内サイズ(間口×奥行×高さ)	最大920(※1)×1450×2000(※2)	950×1150×2000(※2)
希望小売価格(※3)(税抜き)	4,522,000円～	3,940,000円～
発売予定日	2020年6月1日	

パナソニック エレベーター株式会社(以下:パナソニック エレベーター)は、小規模建築物向けの小型エレベーターの新製品「VSシリーズ」を2020年6月1日に発売します。なお、本製品はパナソニック ホームエレベーター株式会社(以下:パナソニック ホームエレベーター)からパナソニック エレベーターへの社名変更後、初の新製品です。

業務用エレベーターと比較して低コストで導入できる小型エレベーターは、従来車いすでの移動が必要な福祉施設や診療所などを中心に導入されてきました。一方昨今では、一定の条件のもと(※4)、教育施設等への設置などの様々な小規模建築物へと導入が増加しており、市場は拡大傾向(※5)にあります。そうした小型エレベーター市場の拡大を踏まえ、当社は2020年4月1日、社名をパナソニック ホームエレベーターからパナソニック エレベーターへ変更。従来以上に小型エレベーターを様々な小規模建築物へ提案していきます。

今回発売する小型エレベーター「VSシリーズ」では、全国各自治体の「福祉のまちづくり条例」に対応できるルーム内奥行きが業界最長^(※6) 1,450 mmの「XLウェルハートVS」と、省スペース設置の奥行き1,150 mmの「ウェルハートVS」の2機種を展開。2機種ともに6人乗りの業務用エレベーターとほぼ同等のルーム内広さでありながら、業務用エレベーターよりも省スペースかつ、木造建築物でも専用鉄塔なしで設置できます。また、多くが2階建てである福祉施設などに限らず、様々な小規模建築物へ導入しやすいよう、業務用エレベーターで広く採用されている運転方式「乗合全自動運転方式」を採用。中間階の乗り場には、昇り・降りの2つのボタンがあるため、複数の階でエレベーターを呼び出した際でも効率的に運搬できます。加えて、下降時の最高速度を従来の1.5倍の毎分30 mに高めることで、待ち時間や移動時間を短縮しています。さらにルーム内・乗り場ともに、昇降方向や停止位置が一目でわかる「インジケーター」や、手の甲や肘でも押しやすい40 mm×40 mmの「大型操作ボタン」を標準装備しました。

当社は今後もエレベーターを通じて、「バリアフリーからフロアフリーへ」のコンセプトで、街づくりにおけるフロアフリー化に貢献していきます。

<特長>

1. 業務用エレベーターと同様の操作性の実現と下降時の最高速度向上により待ち時間や移動時間を短縮
2. 専用鉄塔なしで木造建築物にも設置可能
3. 見やすい「インジケーター」と使いやすい「大型操作ボタン」を標準装備し、各種オプションを準備

※1:床面から400 mmまでの間口寸法は814 mm、床面400 mmから天井までの間口寸法は920 mm

※2:踏込み部分を含む寸法です。なお、ルーム内奥行き最大寸法は、建築基準法上の寸法とは異なります。

※3:メーカー希望小売価格は、エレベーター本体(標準装備)と参考据付費の税抜価格を足した額です。「メーカー希望小売価格」以外に、「諸官公署等手続費」が別途必要です。建物側工事費は含まれていません。オプション装備品は含まれません。遠隔地費用は除きます。その他、メンテナンス契約料金が継続的に必要です。

※4:小型エレベーターは、業務用エレベーターと比べて1日の利用頻度が少ないことを前提として設計されているため、乗り過ぎのおそれのある雑居ビル等には設置できません。また、管理責任者を選定、その管理のもとで使用する必要があります。

※5:一般社団法人 日本エレベーター協会調べ。「昇降機設置台数等調査結果報告」より。2015年の市場全体の出荷台数が1,054台であるのに対して、2018年度が1,286台。

※6:「XLウェルハートVS」について。国内の小型エレベーター業界において。2020年5月14日現在、当社調べ。

【お問い合わせ先】

パナソニック エレベーター株式会社 事業企画担当

電話:06-6908-1131(代表 受付9:00~17:30)

【特長】

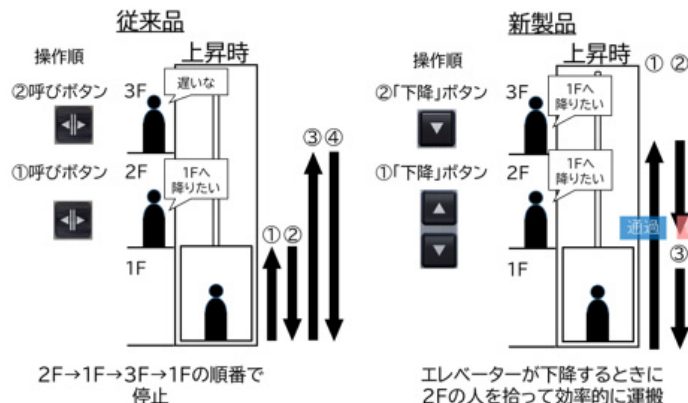
1. 業務用エレベーターと同様の操作性の実現と下降時の最高速度向上により待ち時間や移動時間を短縮

小型エレベーターの多くは、エレベーターの利用頻度が限定的かつ、多くが2階建てである福祉施設等での利用を想定し設計されており、乗り場のボタンは呼びボタン1つのみで、ルーム内の行先階ボタンを優先する運転方式が採用されています。そのため、後から乗り場呼びボタンを押した人の待ち時間が長くなってしまった場合があります。今回発売する新製品は、3階建てや4階建ての小規模建築物での利用を想定し、業務用エレベーターと同様の運転方式である「乗合全自動運転方式」を採用。中間階の乗り場には、昇り・降りの行先を指定する2つの呼びボタンがあり、エレベーターの昇降方向と同じ方向への呼びに優先して応答するため、複数の階でエレベーターを呼び出した際に効率的に運搬することができるようになり、利便性が向上しました。

また、下降時の最高速度を従来の1.5倍の毎分30 mに高め、最大30%程度の時間短縮^(※7)を実現。4階から1階への移動の場合でも素早いフロア移動が可能です。

※7:当社従来品との比較。2020年5月14日現在 当社調べ

■操作された順番が2階→3階の場合



■下降速度20 m/分と30 m/分の比較



2. 専用鉄塔なしで木造建築物にも設置可能

通常、業務用エレベーターを木造建築物に設置する場合は、エレベーター専用鉄塔の築造が必要です。当社のすべてのエレベーターは、エレベーターにより発生する荷重が小さく、専用鉄塔を築造せずに、構造躯体に直接設置することが可能であるため、建築工事費を抑えることができます。

3. 見やすい「インジケーター」と使いやすい「大型操作ボタン」を標準装備し、各種オプションを準備

ルーム内・乗り場ともに、昇降方向や階数の他、緊急時にメッセージを表示する「インジケーター」を標準装備。また、乗り場呼びボタンやルーム内の戸開ボタン・戸閉ボタン・階数ボタンには手の甲やひじでも押しやすい40 mm×40 mmの「大型操作ボタン」を採用。また、文字が大きくコントラストの高い照光、触っただけで認識できる凸型の立体形状などのユニバーサルデザインを採用しています。

さらに、オプションには、運転状態に応じて、昇降方向や階数などを音声で案内する「音声アナウンス」や聴覚に障害をお持ちの方でも、外部へ連絡可能な「聴覚障害者対応インターホン」など、様々な機能をご用意しています。

■ ルーム内大型操作ボタン

情報表示パネル
エレベーターの運行情報をお知らせ

非常通報ボタン
ブザーが鳴り、エレベーターの外にいる人にお知らせできます。

誰が操作しやすい
40mm×40mmの大型操作ボタン

■ インジケーター付乗り場ボタン

乗り場インジケーター
各階の乗り場で昇降方向や階数、緊急時にはメッセージを表示。

乗り場呼びボタン
40mm×40mmの大型操作ボタン。中間階は昇り・降り呼びボタンを搭載。

管理キースイッチ
1ヶ所標準装備(基本は最下階)増設はオプション

■ ルーム内インジケーター

昇降方向や階数だけでなく、地震発生時[※]など、緊急時にはメッセージを表示。
※地震時警報運転装置のオプション付加が必要。

見やすく案内がわかりやすい

■標準装備・オプション仕様一覧

標準装備		オプション機能	
停電時自動巻床装置	停電時に停電灯が点灯、最寄り階へ下方運転し自動でドアを開く機能	30型手すり (増設)	大型操作ボタンが設置されている側とは反対側に手すりを増設 (X/L/WxH=1100x50mm)
戸開き時間延長装置	ドアが開いている時間を3分間延長	三方向連続手すり	手すりが側面・背面全て載っているため、伝え歩きをサポート (O/L/WxH=1100x50mm)
ホームランディング機能	一定時間使用がない場合、エレベーターを予め設定した階で待機させる機能	管理キースイッチ (増設)	最下階に設置されている管理キースイッチを他の階にも設置可能
段差補正機能	乗り降り時に生じるフロアとエレベーターの段差を自動で補正	ルームミラー	ステンレス製で幅250mm×高さ1600mmのミラーをエレベータールームの背面に設置
乗り過ぎ防止機能	乗り過ぎの場合はブザーでお知らせ	換気扇	ルーム内のこもった空気を換気 (「ナノイ」発生装置との併用不可)
緊急時手動下方巻床装置	万一の閉じ込めの際、コントセンターのサポート下で操作誘導し、最寄り階へ下方運転	「ナノイ」発生装置	1年を過ぎて自動運転、エレベータールーム内の空気を爽やかに (換気扇との併用不可)
指定階不停止機能	停止させたくない階に、エレベーターが停まらないように設定可能	音声アナウンス	昇降方向や到着案内、緊急時のお知らせを分かりやすく音声で案内
戸開走行保護装置	ドアが開いたままエレベーターが動いた場合、通常の運転制御とは独立して緊急停止	インターホン	24時間、管理施設等と連絡がとれる構内専用の連絡装置 (聴覚障害者対応インターホンの併用不可)
省エネ機能	エレベーター使用后、ルーム内照明や各種機能が自動休止	聴覚障害者対応インターホン	聴覚に障害をお持ちの方でも外部と連絡可能 (インターホンの併用不可)
冠水時管制運転	ビットに2.5cm以上水が溜まると、一つ上の階までエレベーターを移動し休止させる機能	点字表示	乗り場ボタンとルーム内操作ボタンを点字でご案内
乗り場インジケータ	各階の乗り場で昇降方向や階数、緊急時にはメッセージを表示	遠隔乗り場ドア「けむりシャット」	ドアのすき間に特殊な気密材を取り付け、遮音性能を発揮
ルーム内インジケータ	昇降方向や階数だけでなく、地震発生時など緊急時にはメッセージを表示	火災時管制運転装置	煙感知器 (建築制工事) からの信号を受信することにより、自動でエレベーターを避難階に運転し、ドアを開く機能
ワンタッチ通報ボタン付電話機	万一の緊急時に使える外線連絡用の電話機	地震時管制運転装置	走行中にP波を感知すると、進行方向の最寄り階に停止し、自動でドアを開く機能 その後、震度5相当以上のS波があると、そのまま休止状態に (昇降行程7m以上標準装備)
LED照明	照明交換の頻度軽減、お手入れが楽なLED照明を搭載	煙感知器点検口用安全スイッチ	昇降路内に煙感知器を設ける場合、点検口に安全スイッチを設置 点検口が開いた場合に、エレベーターの動力を停止します
大型操作ボタン	手の甲や肘でも押すことができる40mm×40mmの大型操作ボタン		
ドア自動反転機能	人や物がドアに触れると自動的に再び開く機能		
マルチビームドアセンサー	光センサーで障害を検知すると、閉まりかけていたドアが身体に触れることなく再び開く機能		
銅板製難燃戸	遮炎性能を有する乗り場ドア		
30型手すり	大型操作ボタンが設置されている側に手すりを標準装備		
管理キースイッチ	エレベーターを運転・休止させる装置 (標準は最下階に設置)		
防滑性フロアシート	土足でのご利用を考慮した対傷性と、濡れても滑りにくい防滑性を備えた床材		

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。